

ジョークサロン3月度例会

つぶやき都々逸

佐藤俊一さん kitami-yosuke@1041sato が #ほぼ日刊都々逸 のタグのもとにツイートしたものです。阿部が3月のツイートから拾いました。

1 欲深き人の心と 降る雪は 積もるにつれて 道を忘れる

—最初は志ん朝の落語のマクラで聞き憶えた歌だけれど、幕末の武士・高橋泥舟の作という。ロシアのプーチンの所業を見て、ふっと思い出した。とんでもなく欲深き人で、今や完全に道を忘れてる。

2 お題「春分」

花笑う 春の一角 切り分けて冬 白き群生 雪柳
春の先どり スイーツ売場 分け入りて観る 桜かな

3 たれが恋しや 名代の鰻 もだえもだえて 身を焦がす

—お墓参りに出かけた帰り、鰻重なんぞをいただきました。(^^)

4 朝の鏡に 亡父（おやじ）を見つけ 苦笑いする 春彼岸

5 お題「返」

銀行マン 相撲とらせりゃ 突き押し返し うまく決めたよ 引き落とし～
狐狸だって恩は返すに恩義にむくれ仇で返すは人でなし
—落語の「狸賽(たぬさい)」はタヌキ、「安兵衛狐」はキツネの恩返し。
うちの奥さん 見返り美人 頼み事すりゃ 高くつく

6 姉に妹 娘に嫁に 妊婦もみんな 女偏

兄に弟 息子に夫 爺になっても 男じゃない!?

—女は一生「女」だけれど、男の一生には「男」という漢字が出てこないよ。(;^_^A

7 恋の闇夜に 道しるべ香る 垣根越えくる 沈丁花

8 天狗のごますり すりこぎ要らぬ 鼻たかだかで 得意赤面

—江戸の根付けに、天狗が長い鼻ですり鉢を挿る、愉しくも秀逸な作品がありました。(^O^)

9 きょうの夕飯 寒サバ主役 久しぶりだね サバ威張る

サバイバル～ (^O^)

10 無理に帰した 女の意地を 悔やむ涙か 夜の雨

11 お題「卒業」

二人が重なり 夫になったが それも卒業 またひとり

—「二」と「人」を重ねてみれば「夫」です。(^O^)

12 寒のもどりが こたえる身にも 明日の人生 こたえなし

13 過去を見つめりゃ 未来知れるが 人は歴史に 学ばない

—ロケット工学の故・糸川英夫博士にお会いして「未来を知るには？」とお聞きしたら「答えは過去を見ることです」と。また、歴史学の大家は「残念ながら、人は歴史に学びません」という、二律背反—。

14 青いリンゴを 地球と見れば 皮一枚か 大気圏

15 お題「桃の節句」。男雛も女雛もお内裏様なら

ひなの宴 だいら（代理）同士で 話がはずみ

すぐに挙式と 披露宴

うわさ大好き 三人官女

恋（故意）のうわさに 花咲かせ

五人ばやしも 事実ごにんの

恋のうわさを はやしたて

